

愛の

食べて環境に貢献できる！

おさかな食べよう プロジェクト2024

提供店舗情報はコチラ
<https://umigoti-mie.com/>

草食系おととの大変身



写真は2023年のものです

海のごちそう地域モデル事業inみえ熊野



アイゴは海藻を食べ尽くしちゃう魚。見慣れない魚だけどホンマはめちゃおいしいお魚なんですよ！



アイゴ(通称:アイ)

このプロジェクトは日本財団の助成を受け
鳥羽磯部漁業協同組合が提供しています。

藻場が減っている理由はなあに？

1 海の環境変化
● 地球温暖化 ● 黒潮の蛇行による海水温の上昇 ● 海の栄養不足など、さまざまな海の環境変化により、海藻が育ちにくい状況になっています。

2 植食性動物による影響
水温上昇により、海藻を食べる魚たち（植食性動物）の動きが活発になったり、以前はあまり見られなかった南方系の動物が増え、海藻が過剰に食べられてしまっています。

3 天災などで失われる環境
台風などの天災、あるいは埋め立てや護岸工事などにより、生育環境が失われてしまうほか、生物に悪影響をあたえる水質変化、土砂やゴミの流入で海藻が枯れてしまうことが要因となります。

藻場が減っているって本当？

はい いいえ



シーベジたべるフィッシュ

私たちは海藻を食べちゃう魚たちをシーベジたべるフィッシュと名付けました。

海の環境変化などにより、海藻が減っていく現象（磯焼け）が全国的に問題となっています。その原因のひとつに、高水温の影響などで海藻を食べる魚（植食性魚類）の動きが活発になっていることがあります。この魚を皆で食べることが海藻を守ることにつながります。

海の森って なんだろう？

海藻が豊かな海をつくります。魚貝類の産卵場や小魚の隠れ家、餌場などのほか、二酸化炭素を吸収して酸素を供給しています。海の生態系に海藻はなくてはならない存在です。

